

令和5年12月27日

第72回レンガドック活用イベント 実施報告書

レンガドック活用イベント実行委員会

第72回レンガドック活用イベントは、小春日和の快晴の中、令和5年12月23日(土)に、戦時中の昭和16年(1941年)11月に、浦賀ドックと浦賀の町を舞台として公開された映画『八十八年目の太陽』を、『レンガドック活用センター』で上映しました。

5月のレンガドック活用イベント実行委員会総会で提案があり上映を行いました。82年前とは思えない映像クオリティの高さに驚くとともに、浦賀でオールロケをしており、所々で昔の浦賀が見ることができました。

レンガドック活用センターは張の高さが低く、映像が観覧者の頭を被らないように椅子を交互に置いたため、2回(各50名)に分けて同じ映画を上映しましたが、最初に山本詔一実行委員から、映画の時代背景等について解説をしていただきました。

1 目的

浦賀の街を支えていた造船所の歴史を地元の住民等に伝えることで、歴史を継承するきっかけとするとともに、親しみを持ってもらうことで、浦賀のまちづくり機運を高めるきっかけづくりに役立てる。

2 概要

(1)実施場所

レンガドック活用センター

(2)日時、参加者

- ①令和5年12月23日(土) 12:30～14:15 44名
- ②令和5年12月23日(土) 14:30～16:15 34名

(3)実施プログラム

『八十八年目の太陽』(昭和16年製作)の上映

(4)スタッフ

- ・市民ボランティア「ドックと浦賀の歴史を愛する会」10名
- ・郷土史家 山本詔一氏(レンガドック活用イベント実行委員)
- ・レンガドック活用イベント実行委員会副委員長:横須賀市都市部長 廣川 浄之氏
- ・レンガドック活用イベント実行委員会事務局:まちなみ景観課 古川

3 実施プログラムの写真



レンガドック活用センター前看板設置



リハーサルの様子



映像放映機器一覧



上映前概要説明（山本実行委員）

4 今後のスケジュール

第73回 レンガドック活用イベント

日時：令和6年2月17日（土）13：30～15：30

場所：レンガドック活用センター

内容：『浦賀ドックを語る講演会』～住重OBと郷土史家が語る～

昭和59年（1984年）に住友重機械工業(株)川間工場は閉鎖されましたが、船の修理だけではなく、本四連絡橋の一部や湘南大橋等の橋梁（きょうりょう）を製造していました。今回の講演会では、当時を知る川間工場のOBと郷土史家による講演及び解説を行います。

以上